

【シバニード®グリーン】2013年6月26日作成

シバニードは登録商標

←の部分が2013年6月26日付けで変更になりました。

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

除草剤

オオアレチノギク・メヒシバなどキク科・イネ科雑草に 芝生に使える除草剤

早春の低温時でも効果を発揮 雑草を枯らし芝生をイキイキ育てる

シバニードグリーン®粒剤

有効成分：シアナジン[2-(4-クロロ-6-エチルアミノ-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)-2-メチルプロピオニトリル]………1.0%
DBN[2,6-ジクロロベンゾニトリル]………0.50%
N:P:K:Mg(11:8:7:3)

農林水産省登録：第22745号 性状：淡褐色粒状 1mm～3mm

有効年限：5年

容量：700g

(シバニードグリーンは登録商標)

特長

- しつこい雑草に：芝生内のオオアレチノギク等のキク科雑草や、メヒシバ、スズメノカタビラ等の一年生イネ科雑草、カラスノエンドウ等の退治に効果的！
- すばやく枯れる：効果がアップ(当社従来品比)。散布後3～7日で枯れ始める！
- 肥料入り：雑草を抑えながら芝生を健やかに育てます！
- 効果は約3カ月続く：雑草抑制+肥料効果が持続する！

上手な散布の仕方

- 容器を開栓し、そのまま芝生に均一に散布します。
- 散粒口を真下に向け、中身を振り出すように容器を20～30cm上下させて70回振ると約20～40g出ます。
- 適量を均一に散布しやすいよう、容器の振り出し口はやや小さめになっています。
- 散布量過多に注意してください。

効果・薬害等の注意

- 雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、雑草発生前～雑草発生初期に均一に散布。
- 高温期や異常乾燥時または芝生が弱っている時には使用しない(薬害)。
- 砂土では使用しない(薬害)。
- 植え付け後や更新作業後の根が傷んでいる時期には使用しない(薬害)。【目立たせる】
- 西洋芝は枯れるので、使用しない。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意。

安全使用上の注意 マスクマーク

- 体調のすぐれない時は散布しない。
- 眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける(刺激性)。
- 散布時は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 水源池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意。
- 飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意。
- 空容器等は放置せず、環境に影響を与えないよう、良くたたいて中身を完全に出してから適切に処理する。

高温期の注意：高温期や異常乾燥時、芝生が弱っている時には使用しない(薬害)。

砂土での注意：砂土では使用しない(薬害)。

芝生の状態に注意：芝生の活着(芝を引っ張っても根が張っていて剥がれにくい状態)が不十分な芝生、生育不良の芝生には使用しない。

散布量・散布方法に注意：散布量が多いと、芝生も枯れるので注意。むらなく均一に散布する。

注意

- 草丈の高い雑草には効きにくいので注意。雑草発生前や草丈の低い時期(目安として5cm以下)に散布する。
(散布時期を失すると、肥料効果によって雑草の生育を促してしまうことがあります)。
- 有用植物も枯らす。
- 雑草の中には枯れにくい種類(カヤツリグサ科など)もある。
- 土壌条件、気象条件によっては効果にむらが生じる場合がある。

適用雑草と使用方法

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬を年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示します。

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数※	使用方法	本剤 700g で 散布できる面積
日本芝 (こうらいしば)	一年生雑草	雑草発生前～ 雑草発生初期	20～40 g/m ²	本剤:3回以内 シアナジン:3回以内 DBN:3回以内	全面土壌 散布	17.5～35m ² (約5.4～10.6坪)
	多年生広葉雑草 スギナ	春夏期 雑草発生前～ 雑草発生初期				